

英公大居士相高二十二年奉供養神靈也于時
寛永十八年辛巳年三月六日施主敬白

右意趣とある寺の代々大檀那春日大明神四十九
代の後胤通足右臣の御子淺海公の末孫武多を京
多美京外に義氏廟塔としり寺中の位牌
には

香春院殿前京兆羽州大守柳翁英公大居士

天正十三年三月六日

予正法寺に從つて寺僧よりあるに義氏の遺物と

祖の墳墓もなり一箇山を尾浦の山城といふ誤に
山上に少く清水ありて外は水のなり是る邊
より絶頂の城の如く喰違ふれなり半々の音階と
之の然るは城地の企もありしあり土人の云ふ館山の
城代は義氏の門弟の志保月休といふ人ありといふ
いふ事なり説り又或説り尾浦の物と山といふ
城地ありといふけし井樓ありといふ同
復繁富の同志某は義氏妻の義氏生家の叔家
臣林多八を身つ小田原よりとら者彼妻の父長清を